

「ルワンダでの道直し体験を終えて」



高知工業高等学校 電気科3年 宮崎 惇仁
期間 (8月7日～8月27日)

1. 初めに

この度は、私をルワンダ事務所での道普請人の活動に参加させて頂き、誠にありがとうございました。

まだ未成年の私に貴重な機会をくださった木村教授、現地でお世話になりました千葉さん、ルワンダ事務所の皆さん、ホームステイをさせてくださった

御家族の皆様、一緒に作業をさせてもらった村民の方々に心より感謝いたします。

2. 主な活動について

今回は、ブレラとムサンゼの2つの地域のトレーニングに参加してもらいました。



アフリカ国内でのルワンダ
東アフリカに位置している内陸国で、面積は四国の約1.5倍



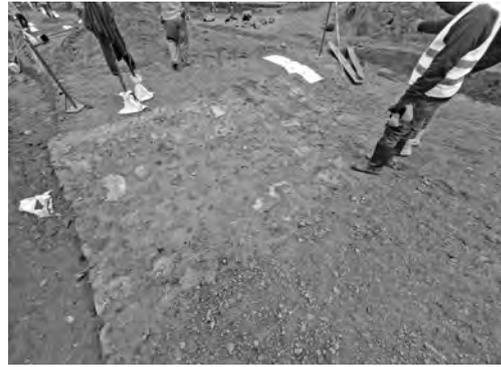
ルワンダ国内でのムサンゼとブレラ
薄い枠で囲っているのがブレラで黒い枠がムサンゼ
コンゴの国境の近くに位置する

ブレラでの作業風景



土のうを叩いて強度を上げ、上から土を被せて道を補強していく





雨水を逃がすための溝を作る



完成した道



看板

ブレラでの道直しの体験は途中参加で、作業の終盤くらいの状態の時に参加させてもらいました。初めての道直しの体験だったのでとてもお世話になりました。土のうを折りたたむ時に、縛った口の部分が見えないよう並べていく事が難しく慣れなかったけど、村人の方達が優しく教えてくださったおかげ

で次のムサンゼではスムーズに行くことができました。皆とても真面目で黙々と働いていました。村の近くにはよく外国人が居て、その影響か村から離れた所だとよく物珍しそうに見られる事があったけど、村の中だとあまり目立つ事はありませんでした。

ムサンゼでの作業風景



まず最初に授業をしてその後には道具を作る



今回直す道の全貌 右の写真の奥にある坂は地面が固いのでつるはしを使う



橋を直す為に山に木を切りに行く



大雨の次の日道は大きな水溜まりができてぬかるんでいたが土のうを敷いた道はぬかるまなかった

ムサンゼでは 1 番最初のミーティングから参加させて貰うことができました。はじめはお互いあまり話す機会が少なかったけれど、日が経つに連れて段々皆と仲良くできてうれしかったです。ムサンゼの人はブレラの人に比べてお喋りでのんびりしているな

と感じました。よく聞かれた事は日本はどんな国ということや、日本語を教えると頼まれたり、ゴリラを見たことがあるかなどを聞かれました。ぼこぼこだった道がどんどん日を追う事に綺麗になっていくのは見ていてとても面白かったです。

3. 最後に

今回のルワンダでの体験はとても楽しく、たくさんのお話を学びました。その内の1つは、百聞は一見にしかずという事です。

私は、これまでこの言葉の意味は知っていても実際に体験をした事はありませんでした。なので、ルワンダへ行った時は驚く事がたくさんありました。例えば気候です。私はこれまでアフリカはどここの国も年中を通してとても暑く雨も少ないと思っていました。なので、ルワンダが涼しくて雨季があるといっても、おそらく気候は日本の初夏くらいで雨も小雨くらいだと想像していました。しかし実際は、気候はとても涼しく朝や夜は寒いくらいで、雨も日本じゃ台風の時にしか降らないような大雨が何日か連続で続いていたりして、衝撃を受けました。他にも思っていた事と全然違う事がたくさんありました。けれど私が日本に帰って、周りの人にどれだけ上手にルワンダでの体験を上手に説明しても、私がルワンダに行く前読んだルワンダをまとめたサイトのように体験したことの3分の1も伝わらないなと思い、百聞は一見にしかずの意味が分かりました。

また、私は今回の体験で人はいつも誰かのお世話になっているおかげで生きていけるという事を学びました。私はルワンダに行く前、少しでも人の役に立ちたいと思っていました。しかし実際はたくさんのお世話になりました。例えば、私はまだ高校

生で世間も狭くほとんど自分で何も出来ず、出発前も滞在中もたくさんのお世話になりました。他にも慣れない作業で皆の足を引っ張ったし、ホームステイ先の御家族やルワンダ事務所の方達が、普段の忙しい生活の合間を縫ってお世話をしてくれなければ私はルワンダで暮らすことも出来ませんでした。人の役に立つということは口で言うことは簡単でも、実際に行うのはとても難しく不可能にも近いと感じ、それを目標にしていた事は安易な考えだったと思いました。恐らく私はこれからもたくさんのお世話になりながら生きていくので、人の役に立つ立たないよりもいつもお世話になっている周りの方々に感謝して、私がたくさんのお世話になったように私も周りに気を配ることを意識して生きていこうと思います。そうする事で楽しかったり、大変だったルワンダでの体験を無駄にせず活かしていくことが出来ると思いました。それが10年後でも20年後でも、今回の体験はいい思い出だったと思えるような生き方だと私は考えました。

最後に、20日にわたり貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。木村教授、千葉さん、ルワンダ事務所の方々、ホームステイ先の御家族、今回の体験でお世話になった方々に感謝いたします。今回の体験で学んだことは、決して無駄にせずこれからの人生に活かしていこうと思います。本当にありがとうございました。



右から3番目の黒い上着を着ているのが筆者です。